

# 警戒レベルと タイムラインのステージについて

令和元年12月19日

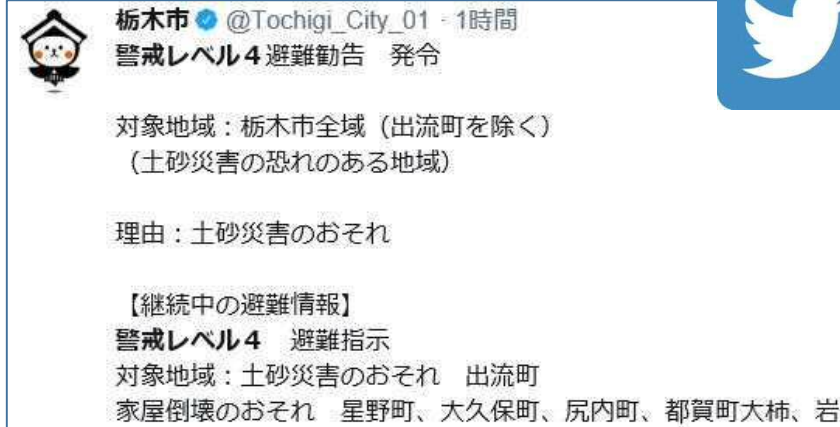
太田川水防災タイムライン検討会

# 警戒レベルとは

警戒レベルとは、自治体や気象庁等から発表される防災情報を用いて住民がとるべき行動を直感的に理解しやすくなるよう、5段階の警戒レベルを明記して防災情報が提供されるもの。

## 【使用例】

### ○Twitterの場合



**栃木市** @Tochigi\_City\_01 · 1時間  
警戒レベル4 避難勧告 発令

対象地域：栃木市全域（出流町を除く）  
（土砂災害の恐れのある地域）

理由：土砂災害のおそれ

【継続中の避難情報】  
警戒レベル4 避難指示  
対象地域：土砂災害のおそれ 出流町  
家屋倒壊のおそれ 星野町、大久保町、尻内町、都賀町大柿、岩

### ○ニュースの場合

洪水警報が発令されました。警戒レベル3となります。避難に時間を要する人とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備をしましょう。

水害・土砂災害の防災情報の伝え方が変わります

逃げ遅れゼロへ!

防災情報はいろいろあるけど  
いつ避難すればいいの？

警戒レベル **4** で **全員避難!!**

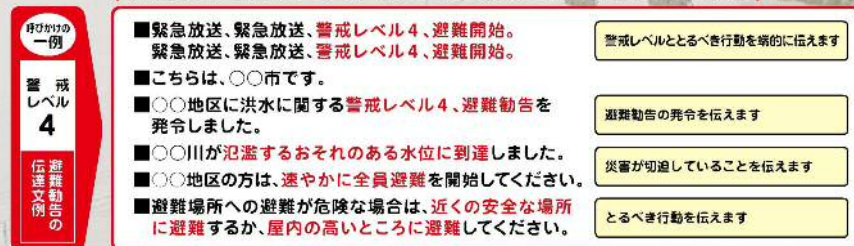
【警戒レベル】で避難のタイミングをお伝えします。

2019年の出水期(6月ごろ)より、  
[警戒レベル]を用いた  
避難情報が発令されます。  
市町村から[警戒レベル③、④]が  
発令された地域にお住まいの方は、  
速やかに避難してください。



【警戒レベル⑤】(市町村が発令)は既に災害が発生している状況です。

次のような内容で自治体から避難行動を呼びかけます!



呼びかけの一例

警戒レベル 4 避難勧告の伝達式例

- 緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、避難開始。緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、避難開始。
- こちらは、〇〇市です。
- 〇〇地区に洪水に関する警戒レベル4、避難勧告を発令しました。
- 〇〇川が氾濫するおそれのある水位に到達しました。
- 〇〇地区の方は、速やかに全員避難を開始してください。
- 避難場所への避難が危険な場合は、近くの安全な場所に避難するか、屋内の高いところに避難してください。

警戒レベルととるべき行動を端的に伝えます

避難勧告の発令を伝えます

災害が切迫していることを伝えます

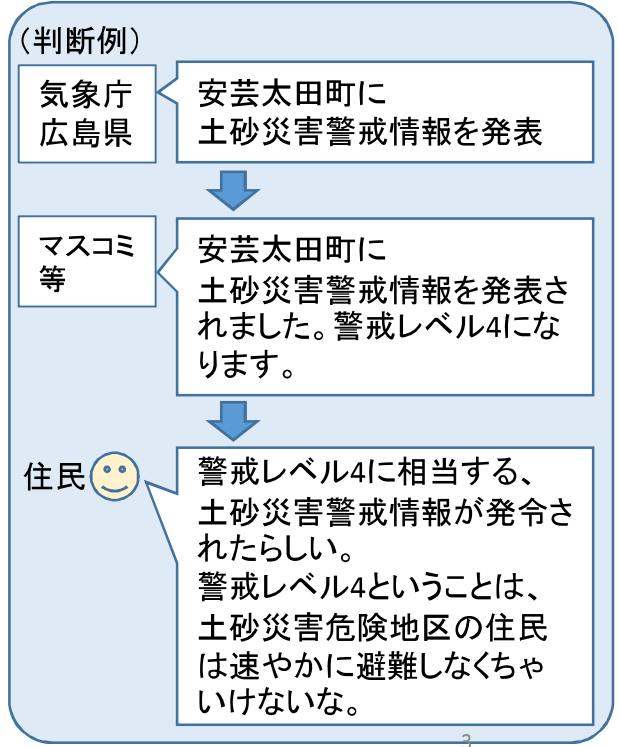
とるべき行動を伝えます

内閣府(防災担当)・消防庁

# 警戒レベルと警戒レベル相当情報

警戒レベル	住民がとるべき行動	市町村の情報	警報等	警戒レベルに相当する 気象庁等の情報※3	指定河川 洪水予報
5	災害がすでに発生しており、命を守るための最善の行動をとる	災害発生情報 ※可能な範囲で発令	大雨特別警報	危険度分布	氾濫発生情報
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険度分布の「極めて危険」（濃い紫）出現時には、道路冠水や土砂崩れにより、すでに避難が困難となっているおそれがあり、この状況になる前に避難を完了しておく</li> </ul> <p><b>速やかに避難</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>危険な区域※1の外の少しでも安全な場所へ速やかに避難</li> </ul>	<p><b>避難指示(緊急)</b></p> <small>※緊急的又は重ねて避難を促す場合に発令</small> <p>避難勧告</p>	土砂災害警戒情報	<p>極めて危険</p> <p>非常に危険</p>	氾濫危険情報
3	<p><b>高齢者等は速やかに避難</b></p> <p>土砂災害警戒区域等や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方は、避難準備が整い次第、避難開始</p>	避難準備・高齢者等避難開始	大雨警報 洪水警報	警戒 (警報級)	氾濫警戒情報
2	<p><b>ハザードマップ等で避難行動を確認</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>危険な区域※1や避難場所等を再確認</li> </ul>		大雨注意報※2 洪水注意報	注意 (注意報級)	氾濫注意情報
1	災害への心構えを高める		早期注意情報 (警報級の可能性)		

警戒レベル相当情報  
住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報のこと



出典: 気象庁HP

※防災気象情報と警戒レベルの対応の詳細については、ホームページをご覧ください。  
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/bosai/alertlevel.html>

# タイムラインのステージと警戒レベルの違い

項目	タイムラインのステージ	警戒レベル
トリガーまたは相当情報の設定	各市町の状況に合わせて、避難を開始すべきタイミング等を考慮し、危険度判断のトリガーを設定している。	〇〇情報が出たら避難というように、全国統一で設定。
ステージ及びレベルの判断	基本的には、トリガーにより自動的に決まるものであるが、現時点では、降雨の予測情報等を踏まえ、市町の防災担当者がタイムラインの立ち上げ等を判断している。	警戒レベル相当情報により機械的に決定する。
運用単位	市町単位	市町単位
市町の体制との一致	地域防災計画と整合を図って設定しているため、市町の体制及び、市町が発表する避難情報とステージが一致する。	地域防災計画に記載されている、市町の体制とそのトリガーとは異なるため、ずれが生じる。
メリット	・地域の状況に即した運用が可能	・感覚的に危険度が分かりやすく、住民の防災行動につながりやすい。 ・国や県の職員は、広範囲を監視するため、統一された情報の方が分かりやすい。
デメリット	・トリガーが複雑で分かりにくい	・住民が自分の住む地域が危険なのかどうかを判断するためには、警戒レベルだけでは判断できない。今まで通りに気象情報等を詳細に確認するしかない。

## 【警戒レベル扱いに困った事例(安芸太田町担当者の声)】

・局所的な豪雨が発生し、安芸太田町の山間部に土砂災害危険度情報の赤色が表示された。警戒レベル4に相当し、避難勧告を発令する段階であるが、当該地区には人が住んでいないため、避難勧告を発令しなかった。また、人が住んでいる地域であったとしても、豪雨の最中に避難勧告を発令し、避難所を開設することはできない。

# タイムラインのステージと警戒レベルの違い【広島市】

## 警戒レベル相当情報

警戒レベル	避難情報等	警戒レベル相当情報			
		河川水位情報等	気象予警報・土砂災害危険度情報等		
		大雨・洪水	土砂災害	高潮	
警戒レベル5	災害発生情報				
警戒レベル4	避難指示(緊急) 避難勧告	・氾濫危険情報(氾濫危険水位到達)	・大雨特別警報	・土砂災害警戒情報 ・危険度分布「非常に危険」薄紫	・高潮特別警報 ・高潮警報
警戒レベル3	避難準備・高齢者等避難開始	・氾濫警戒情報(避難判断水位到達)	・洪水警報	・大雨警報(土砂災害) ・危険度分布「警戒」赤	・高潮注意報(警報に切り替える可能性高)
警戒レベル2		・氾濫注意情報(氾濫注意水位到達)	・大雨注意報 ・洪水注意報	・危険度分布「注意」黄色	・高潮注意報
警戒レベル1			・早期注意情報(警報級の可能性)		
警戒レベル0					

## タイムラインのトリガー情報

※配色は警戒レベルに合わせた場合の色

避難情報等	広島市の体制	タイムライン(広島市)の基準				タイムラインステージ
		河川水位情報等	気象予警報・土砂災害危険度情報等			
		大雨・洪水	土砂災害	高潮		
避難指示(緊急)		氾濫発生情報	・大雨特別警報	・土砂災害が発生した場合 ・浸水被害が発生した場合	・高潮特別警報	ステージ5
避難勧告	災害対策本部	氾濫危険情報 氾濫危険水位到達		・土砂災害警戒情報かつ、危険度分布「非常に危険」薄紫～濃紫		ステージ4
避難準備・高齢者等避難開始	災害警戒本部	氾濫警戒情報 避難判断水位到達		・危険度情報 1～2時間後に基準超過) 赤～薄紫	・高潮警報	ステージ3
注意喚起	警戒体制		・大雨警報 ・洪水警報	・大雨警報(土砂災害)	・高潮注意報	ステージ2
状況把握	注意体制 タイムライン立ち上げ		・大雨注意報 ・洪水注意報	・大雨注意報	・台風接近の可能性	ステージ1
			3日予報円に入る			

・横一列で色が異なる部分が、警戒レベルと地域防災計画及びステージにずれがある部分。

・例えば、洪水警報が発令された場合、警戒レベル3となり、要支援者は避難を開始することになる。しかし、広島市地域防災計画では警戒体制となるだけで、避難準備情報はまだ発令されない。タイムラインのステージは2である。

・避難勧告と避難指示が警戒レベル4、災害発生が警戒レベル5に位置付けられているが、タイムラインでは避難勧告がステージ4、避難指示(=災害発生)がステージ5に設定されている。

# タイムラインのステージと警戒レベルの違い【安芸太田町】

## 警戒レベル相当情報

警戒レベル	避難情報等	警戒レベル相当情報			
		河川水位情報等	気象予報・土砂災害危険度情報等		
			大雨・洪水	土砂災害	高潮
警戒レベル5		災害発生情報			
警戒レベル4	避難指示(緊急) 避難勧告	・氾濫危険情報(氾濫危険水位到達)	・大雨特別警報	・土砂災害警戒情報 ・危険度分布「非常に危険」薄紫	・高潮特別警報 ・高潮警報
警戒レベル3	避難準備・高齢者等避難開始	・氾濫警戒情報(避難判断水位到達)	・洪水警報	・大雨警報(土砂災害) ・危険度分布「警戒」赤	・高潮注意報(警報に切り替える可能性高)
警戒レベル2		・氾濫注意情報(氾濫注意水位到達)	・大雨注意報 ・洪水注意報	・危険度分布「注意」黄色	・高潮注意報
警戒レベル1			・早期注意情報(警報級の可能性)		
警戒レベル0					

## タイムラインのトリガー情報

※配色は警戒レベルに合わせた場合の色

避難情報等	タイムライン(安芸太田町)の基準				タイムラインステージ
	安芸太田町の体制	河川水位情報等	気象予報・土砂災害危険度情報等		
			大雨・洪水	土砂災害	
避難指示(緊急)		・氾濫発生情報 ・危険水位到達 ・温井ダム常洪水時防災操作移行1時間前		・土砂災害発生	ステージ5
避難勧告	非常体制	・氾濫危険情報(氾濫危険水位到達) ・温井ダム異常洪水時防災操作移行3時間前 ・中電ダム放流通知		・土砂災害警戒情報	ステージ4
避難準備・高齢者等避難開始	第二次警戒体制 第一次警戒体制	・氾濫警戒情報(避難判断水位到達)		・危険度情報 2時間後に基準超過)赤～薄紫	ステージ3
			・大雨注意報 ・洪水注意報		ステージ2
	注意体制				
	タイムライン立ち上げ	3日予報円に入る			ステージ1

- ・横一列で色が異なる部分が、警戒レベル地域防災計画及びステージにずれがある部分。
- ・例えば、土砂災害危険度情報(2時間後に基準値超過)(=広島県HPの危険度情報では赤色、気象庁HP危険度分布では薄紫)となった場合、警戒レベル4であるが、安芸太田町では避難準備情報を発令するステージ3の段階であり、警戒レベル3の状況である。
- ・避難勧告と避難指示が警戒レベル4、災害発生が警戒レベル5に位置付けられているが、タイムラインでは避難勧告がステージ4、避難指示(=災害発生)がステージ5に設定されている。

# 今後の警戒レベルとステージの取り扱いについて

- 住民の理解しやすさのためには、警戒レベルとステージが統一されることが望ましい。
- ただし、市町の体制、タイムラインとのずれがあるため、防災担当者の使い勝手を考慮し、タイムラインのトリガーを見直すなど、運用方法を検討する必要がある。
- 今後しばらくは、先述の表に従い、「警戒レベル○はステージ●くらいに相当する」という考え方で、タイムラインを運用する。
- 全国的な動向を伺いながら検討を進める。





# 警戒レベルと警戒レベル相当情報

警戒レベル	住民が取るべき行動	住民に行動を促す情報 避難情報等	住民が自ら行動をとる際の判断に参考となる情報 (警戒レベル相当情報)		
			洪水に関する情報		土砂災害に関する情報
			水位情報がある場合	水位情報がない場合	
警戒レベル5	既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をとる。	災害発生情報※1 ※1可能な範囲で発令	氾濫発生情報	(大雨特別警報(浸水害))※3	(大雨特別警報(土砂災害))※3
警戒レベル4	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定緊急避難場所等への立退き避難を基本とする避難行動をとる。</li> <li>災害が発生するおそれが高くて高い状況等となっており、緊急に避難する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難勧告</li> <li>避難指示(緊急)※2 ※2緊急的又は重ねて避難を促す場合に発令</li> </ul>	氾濫危険情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>洪水警報の危険度分布(非常に危険)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土砂災害警戒情報</li> <li>土砂災害に関するメッシュ情報(非常に危険)</li> <li>土砂災害に関するメッシュ情報(極めて危険)※4</li> </ul>
警戒レベル3	高齢者等は立退き避難する。その他の者は立退き避難の準備をし、自発的に避難する。	避難準備・高齢者等避難開始	氾濫警戒情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>洪水警報</li> <li>洪水警報の危険度分布(警戒)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大雨警報(土砂災害)</li> <li>土砂災害に関するメッシュ情報(警戒)</li> </ul>
警戒レベル2	避難に備え自らの避難行動を確認する。	洪水注意報 大雨注意報	氾濫注意情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>洪水警報の危険度分布(注意)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土砂災害に関するメッシュ情報(注意)</li> </ul>
警戒レベル1	災害への心構えを高める。	警報級の可能性			

※3 大雨特別警報は、洪水や土砂災害の発生情報ではないものの、災害が既に発生している蓋然性が極めて高い情報として、警戒レベル5相当情報[洪水]や警戒レベル5相当情報[土砂災害]として運用する。ただし、市町村長は警戒レベル5の災害発生情報の発令基準としては用いない。

※4 「極めて危険」については、現行では避難指示(緊急)の発令を判断するための情報であるが、今後、技術的な改善を進めた段階で、警戒レベルへの位置付けを改めて検討する。

注1) 市町村が発令する避難勧告等は、市町村が総合的に判断して発令するものであることから、警戒レベル相当情報が出されたとしても発令されないことがある。

注2) 本ガイドラインでは、土砂災害警戒判定メッシュ情報(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)、都道府県が提供する土砂災害危険度情報をまとめて「土砂災害に関するメッシュ情報」と呼ぶ。

気象庁が発表